

Office building



ロードサイドの商業施設を木造で実現。手前が木質門型ラーメンフレーム。

角地を活かした3階建ての社屋。通りに面して2層のガラスのカーテンウォールを採用することで、木の温もりを伝えるモダンな外観と、街との一体感を創出。「社員やお客さんに愛着をもたれる建物に」と熊本県産材が内装材に用いられている。

## ガラス張りの吹抜け大空間を実現 3階建て2×4ツーバイフォー オフィスビル

本施設は、熊本県中心部の県庁通りの角地に位置することから、街の象徴的な建物になることを目指した3階建ての木造オフィスビルです。

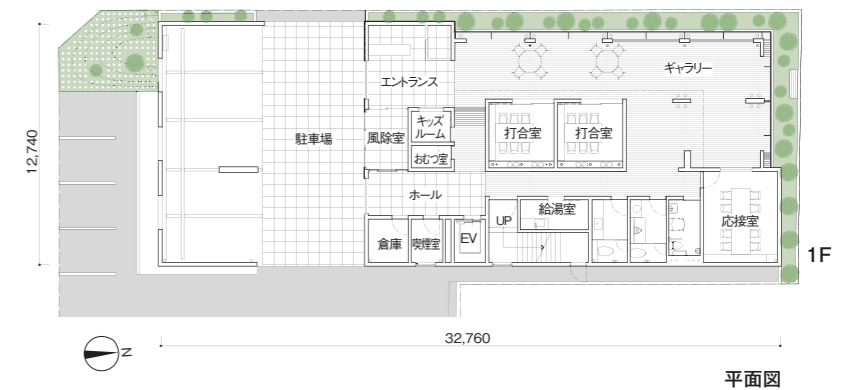
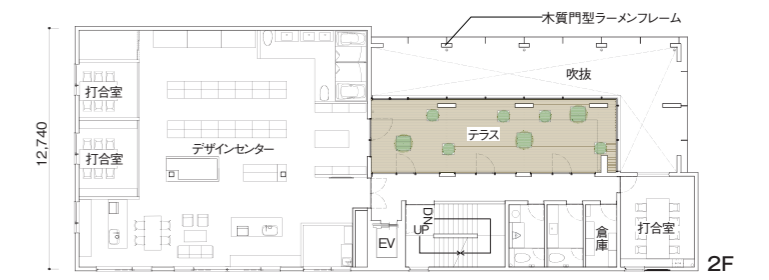
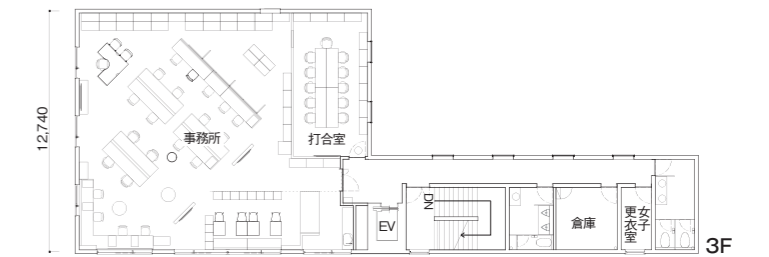
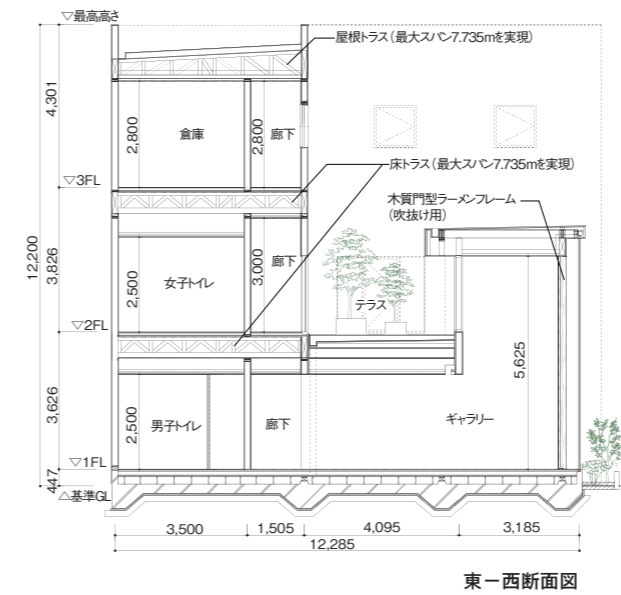
この建物は延床面積約974㎡、ツーバイフォー工法の1時間準耐火構造に木質門型ラーメンフレームを組み合わせ、約6mの大開口と2層分の吹抜けの大空間を実現しました。2階・3階の床トラスにより、最大7m超のスパンも確保されています。2層分の吹抜けを活かして交差点に面してガラスのカーテンウォールが配置され、通りからは1階のギャラリースペースや、2階のテラスまで見通せる開放的な空間がデザインされています。

防火の条件やファサードのデザインを理由に鉄骨造等が採用されることが一般的なロードサイドの商業施設の計画において、本事例は木造でも可能であることを実証しました。昨秋には、木の良さや価値を再発見する製品や取り組みを対象にした「ウッドデザイン賞2020」を受賞しました。この建物を建設した三井ホームグループは「今後も脱炭素社会の構築に向け、再生可能な資源である木材を利用する木造施設系建築の用途拡大を図り、高品質で持続可能な木造建築の普及・拡大に努めていく」と発表しています。

木造では難しい2層吹抜けの大きな無柱空間とカーテンウォールを実現したギャラリースペース。1階には省エネ性の高い全空気式床ふく射冷暖房システムが設置されている。



2階と3階は床トラスと屋根トラスの採用により、南側に広々とした大空間を確保できた。(左)ショールーム機能を持つ2階のデザインセンター、(右)3階の事務所スペース。



床トラスにより7m超のスパンが実現した。

独自の木質門型ラーメンフレームを組み合わせることで、2階陸屋根までの大開口が確保された。



### 物件概要

#### 三井ホーム(株)熊本支店社屋

所在地：熊本県熊本市  
用途：事務所・ショールーム  
構造：枠組壁工法[準耐火建築物]  
規模：3階建て  
敷地面積：818.09㎡ (247.47坪)  
建築面積：407.07㎡ (123.14坪)  
延床面積：974.31㎡ (294.72坪)  
1階407.07㎡ (123.14坪)  
2階283.62㎡ (85.79坪)  
3階283.62㎡ (85.79坪)

設計：(株)志垣デザイン店  
構造設計：(有)ふと  
施工：(株)サンワイヤーテック、大英建設(株)  
建方工事：三井ホームコンポーネント(株)  
工期：2019年10月～2020年6月  
法規制：近隣商業地域(建蔽率80%・容積率300%)  
第2種中高層住居地域(建蔽率60%・容積率200%)  
※二つの用途地域を合わせて建蔽率74%・容積率270%  
準防火地域